文化遺産としての歩道橋

歩道橋が日本で設置され始めたのは高度成長期を迎えた昭和40年ころから。道路や鉄道の整備が急速に 発展したことで横断中の事故も増え、「交通戦争」という言葉が生まれました。そこで歩行者が安心して安 全に渡ることのできる道として歩道橋が設置されていったのです。

ところが今では錆も目立ち、渡る人も少なくなりました。近年はメンテナンスや耐久性、安全性、利用率な どの観点から、撤去されるケースが増えて来たと聞きます。ほとんど使われなくなった歩道橋が撤去され ずに残っているのは、撤去に掛かる費用の問題もあるようです。もちろん現役バリバリの歩道橋も存在し ますが、多くは文化遺産的なオブジェのような存在になりつつあるのかもしれません。

【JR竹ヶ花歩道橋】線路と市道を跨ぐ複雑で長大で迫力のある歩道橋。階段の付け根は、まるでつじつま合わせのような工事のあとが。

to a marked increase in the number of pedestrian accidents - a problem referred to at that time as 'traffic wars'. Ultimately, pedestrian overpasses were introduced to ensure all people a

Fast-forward to today, however, and these overpasses have gathered rust. The number of pedestrians using them has decreased, and incidences of their removal due to issues of maintenance,

So, while some pedestrian overpasses are still very much in active use, many seem to be evolving into urban cultural heritage sites right before our very eyes. One can't help but feel a

durability and safety are reportedly on the rise. It is said that the cost of removal alone presents a problem, meaning that many remain in place despite being largely unused.



【JR松戸駅付近 陸橋と歩道橋】 岩瀬十字路と根本をつなぐ陸橋と

今回はそんな歩道橋を観察し、その楽しみ方を考えてみま 階段の登り降りが疲れるし、ところどころに錆が浮いて いたり、場所によってはすぐ近くに横断歩道があって、

調べてみると意外にも、好奇心をくすぐるマニアックな発見 や歴史、複雑な構造がもたらす機能美に魅了されてしまう のです。それでは、久しぶりに歩道橋を渡ってみましょう。











まつど歩道橋観察

通勤や通学のための近道である、近くに横断歩道がな い、といった理由がない限り、もうあまり渡らなくなった

ほとんどの人はそっちを渡っています。つまり歩道橋

は、できれば避けて通りたい存在になってしまったのか

最近、歩道橋を渡ったのはいつでしたか?













ようです。

もしれません。

In focus - Matsudo's pedestrian overpasses

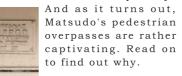
When was the last time you used a pedestrian overpass?

Unless it is a shortcut on the way to work or school, or unless there is no regular pedestrian crossings nearby, it appears that we don't really use them anymore. And it is easy to understand why; walking up and down the stairs is tiring, the structures are growing rusty in places, and sometimes there is a ground-level crossing right alongside, so why would you bother? In other words, pedestrian overpasses seem to have fallen [六実歩道橋] out of favor with pedestrians themselves.





'beyond the overpass' - at their history, their obscurity, and the functional beauty brought forth by their structural complexity.



松戸の最東端にある歩道橋。 In this edition of the Matsudo Paper, we sought to look 春の桜並木は絶景。



pang of sadness upon seeing the long shadow cast by these rusting structures as the sun sets on a winter's evening.



【JR 金山神社歩道橋】線路を越えて神社へ向かうための歩道橋。元来、神社へ続いていた参道が鉄道で分断されるため設置されたと思われる。

safe passage across these roads and railway tracks.

発行:MATSUDO PAPER製作委員会 協力:協力:(一社)松戸市観光協会 松戸市文化観光国際課 後援:JOBANアートライン協議会 MATSUDO PAPER表符会員云 励力 の 写真:鈴木善明 編集部 翻訳:Erin Scott PAPER 執筆:MATSUDO PAPER製作委員会編集部 デザイン:グラフィックデザインオフィス お問合せ:MATSUDO PAPER製作委員会 松戸市胡録台356-9







【JR 戸定邸裏歩道橋】JR 本線と電車車庫への分岐点にある歩道橋。階段が3カ所に設置されている。





【JR松戸駅南歩道橋】ビルの中へ直接つながる階段がユニーク。 旧くなる歩道橋が多い中で、2016年に全面リニューアル工事された。

Truly functional design

Have you ever really considered the design of a pedestrian overpass? While one might typically imagine a symmetrical structure that stretches from left to right, in actual fact there are many asymmetrical examples and few that share the same design. The layout of each is different depending upon the width of the road or railway track over which it spans, the volume of traffic, the orientation and height of the stairs, as well as whether or not there exists a bike ramp. Not to mention the geographical factors of the specific location where it stands, of course.

When designing the stairs, for example, a certain amount of space is inevitably required - the rise can't be too steep, while the run can't be too short. While some pedestrian overpasses have a set of stairs at either end, others have one set at one end but two sets at the other. Even more complex designs can have more than three sets of stairs. Some of these can be straight, while other varieties of stairs can wind back on themselves part way up.

Each individual pedestrian overpass is a reflection of the distinct calculations made to accommodate an array of complex environmental and other limiting factors; they are an example of truly functional design. And to make them even more unique, the top section of each overpass is painted with its own place name, presumably for the benefit of the drivers passing underneath.



【JR二段式歩道橋】馬橋駅と新松戸駅の中間にある中央が一段盛り上がっている。 貨物線が通る敷地だけが高くなっているため、この構造になったと思われる。







【JR 三ケ月歩道橋】線路と道路に挟まれた 小さな三角形の公園。その中に歩道橋があ るように見える。





【JR 北小金歩道橋】松戸市最北端の JR 歩道橋。この先は柏市。





デザインである

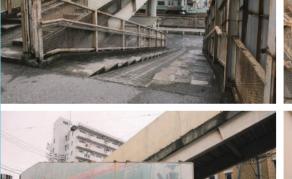
そのデザインについて見て みましょう。歩道橋は左右 対称のイメージがあるかも しれませんが、実は非対称 なものが多いのです。また、 同じデザインの歩道橋はほ とんど存在しません。

道(道路や線路)の幅、交 通量、階段の向きや高さ、 自転車用のスロープの有無 や設置する場所の地理的な 条件によって設計がそれぞ れ異なるからです。例えば 階段にスロープを付ける場 合、ゆるやかに傾斜してい ないと登るのが大変ですし、 階段の幅も広く取らないと いけませんから土地の面積 も必要になります。階段だ け見ても、両側にそれぞれ 一つずつ付いているもの。 片側は1つなのに反対側は 2 つあるもの。もっと複雑 に3つ以上あるものもあり ます。直線的に登る階段も あれば、途中でぐるりと折 り返しているものも存在し ます。実に個性豊かです。 これは多くの複雑な環境と 制限の中で、いかに効率的 に歩道橋を作るかを計算し た結果として機能的なデザ インになっているのです。 また、道路に掛かる歩道橋 には車のドライバーに知ら せるためでしょうか、その 場所を示す地名が大きくペ



【JR北松戸工業団地歩道橋】

自転車用スロープは設置されていない。





【JR 北松戸歩道橋 -A】側壁に「矢切の渡し」の壁画がうっすらと確認できる。



【JR 北松戸歩道橋 -B】謎の鉄骨で囲まれた姿は個性的。屋根はすっかりその機能を失っているが、かつての姿を想像しながら渡ると楽しい。

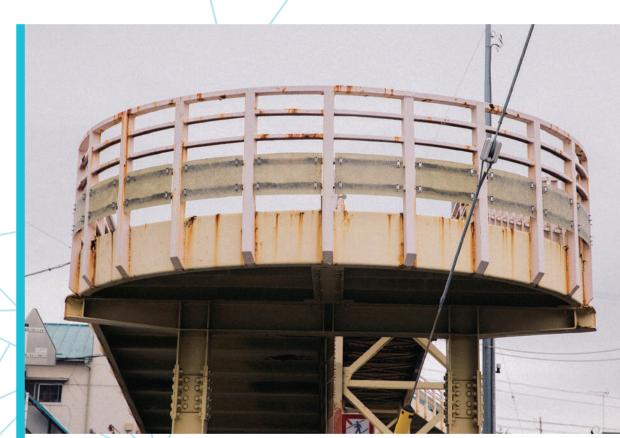




【新京成 常盤平-五香歩道橋】 上の写真はまるでエッシャーのだまし絵のよう。



【新京成 稔台歩道橋】実は駅の外にあり、駅構内からは渡ることができない。







【国道 6 号 馬橋歩道橋】 まるで舞台のステージのような半円上の階段。

「踊り場」とはまさにこのこと。



【国道6号 岩瀬歩道橋】どの歩道橋もそうだが、下から





【国道6号 北松戸1丁目歩道橋】どの階段にも設計の苦労の痕跡が あり、想像力を刺激する。











【国道 6 号 馬橋八ヶ崎歩道橋】こちらもシンメトリ型。傍に立つ石碑が街道の歴史を語る。



【国道 6 号 二ツ木歩道橋】片方の階段が建物の間を抜ける斬新な設計。







イントされています。

